

平成28年度 商工施策について要望

当所では、地元経済人の目から見た「平成28年度商工施策」についての意見・要望を5項目に取りまとめ、舞鶴市並びに京都府に対し要望活動を行いました。

これらの要望内容は、8月18日から9月9日にかけて開催された全ての10部会において、会員同士の忌憚のない意見交換の中で出てきた75件の意見・要望をベースに常議員会・部会長会議による合同会議で議論を重ねてまとめたものです。

今回の要望については、デフレからの脱却を確実なものとし「強い経済」を実現するためには、舞鶴市「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の主役は我々民間自身であることを肝に銘じ、地域経済の活力と雇用の維持・創出に責任を持つ、私たち中小企業の活性化を図ることが肝要だとの観点から、5つのテーマでまとめたものです。



要望書の内容

1. 地元企業に優先発注を

私たち商工業者にとって、まち（地域）はビジネス現場であり、市民生活の場でもある。地域の活性化の処方箋の一つとして、地域で発生する消費需要を地域内で循環させる工夫・仕組みづくりが考えられる。こうした観点から、市内で発注並びに補助金を交付する公共工事等については、過度な競争原理による入札制度で地元企業が排除されないことがないように、また、適正な利益が確保出来るよう分離分割発注などの手法に加えて関係法令の範囲内で市外業者に遠慮してもらうなど、地元企業への優先発注をお願いする。なお、最低入札価格制度のない「物品・役務の発注」については、“価格”だけでなく“品質”を考慮した「落札予定価格」を設定するなど、より適正・有効な「入札制度」になるようお願いする。

2. インフラ整備は市民を守る

地方には、まだまだやるべき「仕事」がたくさんある。市民の生命を守り地域の暮らしや経済活動を支える重要なインフラ整備は、新設だけでなく保守や補修に必要な投資を怠れば、経済活動の停滞を招くだけでなく国土の安全も徐々に崩壊してしまう。また、インフラ整備の充実、市外のヒト・企業・カネを市域内に呼び込むことが出来て、本市の経済規模の拡大にも繋がる。

については、ただいま取り組まれている舞鶴若狭自動車道福知山IC～舞鶴西ICの四車線化の早期完成や国道27号「西舞鶴道路」等の早期整備、府道小倉西舞鶴線白鳥トンネル区間四車線化の早期完成、由良川下流部緊急水防対策・緊急治水対策の早期完成・実施、西市街地における総合治水対策について、必要な国・府の予算を確保し早期に実現していただけるようお願いする。

3. まちなか居住で商店街再生を

かつて商店街は、「商いの場」だけでなく生活者にとって最も利便性の高い「生活の場」でもあった。私たちは、自分が暮らし、そして子孫が暮らしていく地域を支える仕組みを考えていかなければならない。その一つとして、「まちなか居住」と「商店街再生」の一体化で、生活者のための身近な商店街として再構築できるように行政の大きな支援をお願いしたい。また、西地区において、若手経営者・後継者による商店街再生の動きが芽生えている。これを応援する立場から、意欲ある商店街が取り組む誘客促進・まちなかイベントなどに対して利用しやすい支援制度の創設を始め格別の支援をお願いする。

4. 世界に繋げる港に

本州のほぼ中央、日本海側と太平洋側の距離が最も近い部分の日本海側に位置するという、京都舞鶴港の地